

東日本大震災における 北海道所在の自衛隊の活動状況



～千歳救難隊の活動について～

千歳救難隊
工藤3佐

自己紹介

- 階級 氏名 3等空佐 工藤 央也
- 所属 航空救難団 飛行群
千歳救難隊 飛行班員
- 特技 回転翼操縦士
- 入隊期別 航空自衛隊
第39期 航空学生
- 出身地 室蘭市
道立室蘭栄高校卒(S58年)

主な災害派遣出動実績

- 石狩湾 韓国籍貨物船遭難事故
- 美瑛町 グライダー墜落事故
- 苫小牧沖 プレジャーボート転覆事故
- 福島町 小型機墜落事故
- 芽室町 航空大学校小型機墜落事故

保有航空機

救難捜索機 U-125A

救難救助機 UH-60J



乗員	4名	5名
進出可能距離	2200NM(千歳→グアム)	700NM(千歳→小牧)
飛行可能時間	約4時間	約6時間
捜索器材等	赤外線暗視装置 捜索レーダー	赤外線暗視装置 気象レーダー

千歳救難隊の活動内容

- 地震偵察
- 患者空輸
- 捜索救助
- 孤立地区からの人員空輸
- 物資空輸
- 行方不明者の捜索(宮城県松島沖付近)
- 使用航空機の定期整備
- 三沢基地(青森県)への展開



千歳救難隊の活動実績

- 活動期間
3/11 ~ 7/1 (113日間)
- 三沢基地展開期間
3/20 ~ 5/11 (53日間)

	U-125A	UH-60J	
地震偵察	1 ソーティー	2 ソーティー	
捜索救助	36 ソーティー	40 ソーティー	
松島沖捜索	22 ソーティー	23 ソーティー	
救助者数	/	12日	10人 74人 48人
		13日	12人 1人
		145人	
航空救難団 全体で救助した人数 (6月30日現在)			3441人

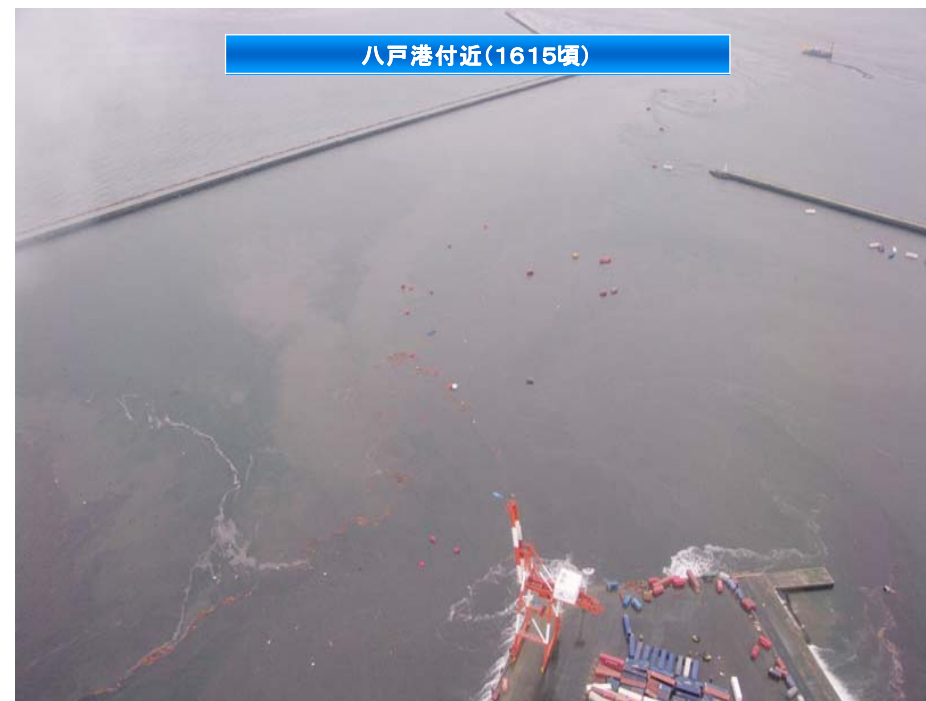
3月11日の活動状況



奥入瀬河口(1605頃)



八戸港付近(1615頃)





有家川河口上空(1627頃)



田老上空(1648頃)



田老上空(1648頃)



船越湾(1705頃)

3月12日の活動状況



救援サイン





3月13日の活動状況





...

...

...

おわり

...

...

...

...

...

...

The slide has a blue background with a dark blue horizontal bar at the top. The word 'おわり' (The End) is centered in white text. There are several small white dots arranged in a grid pattern at the bottom of the slide.